

第V章 国有林野の管理経営

1. 国有林野の役割

(1) 国有林野の分布と役割

- 国有林野(758万ha)は、我が国の国土面積の約2割、森林面積の約3割。奥地脊梁山^{りょう}地や水源^{かん}地域に広く分布し、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全等の公益的機能を発揮。
- 国有林野の90%は水源涵養等の保安林。また、我が国の世界自然遺産(知床、白神山^{しらかみ}地、小笠原諸島^{おがさわら}、屋久島^{やくしま})の陸域の95%は国有林野。

(2) 国有林野の管理経営の基本方針

- 国有林野は重要な国民共通の財産であり、「国有林野事業」として一元的に管理経営。
- 国有林野事業では、平成25(2013)年度の一般会計化等を踏まえ、公益重視の管理経営の一層の推進、森林・林業再生への貢献等に取り組み。

2. 国有林野事業の具体的取組

(1) 公益重視の管理経営の一層の推進

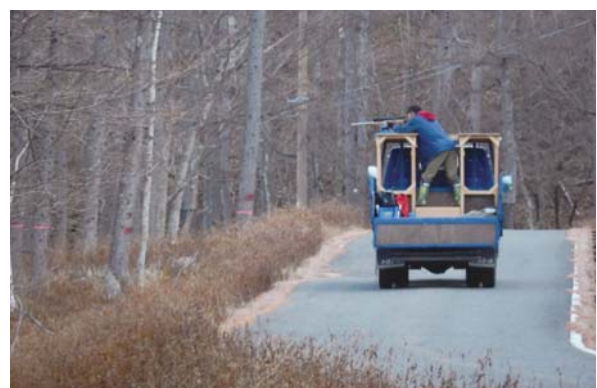
- 個々の国有林野を重視すべき機能に応じて区分し管理経営(「山地災害防止」「自然維持」「森林空間利用」「快適環境形成」「水源涵養」の5つのタイプ)。治山事業により荒廃地復旧や保安林整備を推進。また、民有林でも災害復旧を実施。
- 森林吸収源対策としての間伐等の森林整備、治山事業等における木材利用等を推進。
- 生物多様性の保全を図るため、「保護林」(森林生態系保護地域など7種類)や「緑の回廊」の設定・保管理、シカ等の鳥獣被害への対策等を実施。
- 「公益的機能維持増進協定」により、国有林に隣接介在する民有林を一体的に整備・保全(平成25(2013)年度末現在で5件(143ha)の協定を締結)。

《事例》 治山事業による木材利用の推進



山形森林管理署では、平成26(2014)年度の治山工事(コンクリート谷止工)において、国産カラマツの間伐材を活用したコンクリート型枠用合板約200枚による試験施工を実施。従来の南洋材型枠用合板と比べて遜色ない性能・施工性が確認。

《事例》 地域の実態に合わせたシカ被害対策



日光森林管理署では、従来から実施しているシカ被害対策に加え、平成26(2014)年度からはモデル地域を設定し、給餌による誘引狙撃(写真)、植生影響調査、GPSモニタリング調査など様々な技術を組み合わせた対策を実証。

(2) 森林・林業の再生への貢献

- 国有林が有する多様なフィールドを活用し、コンテナ苗の活用や伐採・造林の一貫作業など、林業の低コスト化等に向けた技術を開発・普及。また、林業事業者や森林総合監理士（フォレスター）等の人材を育成。
- 「森林共同施業団地」の設定により、民有林と連携した路網整備、森林施業等を推進。
- 製材・合板工場と協定を締結し、間伐材等を安定供給する「システム販売」を推進（平成25（2013）年度には国有林からの素材供給量の50%）。

《事例》 架線集材による「一貫作業システム」の実証試験を実施



天竜森林管理署では、架線系による「一貫作業システム」（集材とコンテナ苗の運搬・植栽を一体的に行うシステム）の実証試験を実施。同システムの普及を図るため、現地検討会とシンポジウムも開催。

同システムの普及を図るため、現地検討会とシンポジウムも開催。

《事例》 「システム販売」における新たな取組



群馬森林管理署では、県内の森林組合と連携し、民有林材と国有林材をまとめて出荷（協調出荷）。これ

により、これまで小ロットであることにより販路の乏しかった民有林低質材を製材工場に安定供給。

(3) 「国民の森林」としての管理経営等

- 森林環境教育や森林づくり等に取り組む多様な主体に対して、「遊々の森」、「ふれあいの森」、「木の文化を支える森」、「法人の森林」を設定し、フィールドを提供。また、地域の関係者や自然保護団体等と連携した「モデルプロジェクト」を実施。
- 地方公共団体や地元住民等に対して国有林野の貸付け等を実施。また、「レクリエーションの森」（自然休養林など6種類）を設定し、地元関係者と連携して管理運営。
- 東日本大震災からの復旧・復興に向け、海岸防災林の再生、国有林野の除染等に取り組むほか、除去土壌等の仮置場用地を提供。

《事例》 木の文化を支える森づくりの推進



裏木曾地方（岐阜県南東部）は、優良な木曾ヒノキの産地で、伊勢神宮をはじめ多くの神社仏閣等に供給。東濃森林管理署では、「裏木曾古事の森」を設定し、地元自治体等と連携して、200～400年の超長期の森林整備等に取り組み。

《事例》 地域と連携した「レクリエーションの森」の管理の推進



「くまもと自然休養林」には、スギの巨木、原生林、美しい深谷等があり、多くの人々が訪問。熊本森林管理署と地元自治体等が連携し、遊歩道の整備や休憩所の維持管理、景観保護、トイレ清掃等に取り組む、地域の観光資源としての魅力を向上。